

都市環境

防災・減災

生物多様性

景観形成

レクリエーション

地域活性化

太陽と緑と大地のガーデンシティみやざき

花と

みどり

花とみどりのプロジェクト

MIYAZAKI

宮崎市

緑の基本計画

資料一覧

1. 緑の基本計画の構造 (P1)
2. 緑の基本計画の概要 (P2)
3. 花とみどりのプロジェクト「重点施策」の概要 (P3)
4. 花とみどりのプロジェクト H31 年度事業費 (P4)

緑の基本計画の構造

●第五次宮崎市総合計画

[目標年度：2027年度]

都市の将来像	未来を創造する太陽都市「みやざき」
理念	市民が主役の市民のためのまちづくり
基本姿勢	地域に愛着をもち、新たな価値を共につくる 1.均衡発展と地域特性を生かした協働、2.防災、3.地方創生の実現

基本目標	重点項目
生活機能の確保 ○豊かな自然を保全享受し心身が健やかに保てるまち。 ○安心して暮らせる環境の整備されたまち。	1.子育て支援の充実 2.医療・福祉の充実 3.居住環境の充実
地域社会の形成 ○子どもたちが心豊かに成長できる教育の充実したまち。 ○生涯にわたって生きがいを持ち暮らせるまち。	1.誇りや愛着の育成 2.地域コミュニティ形成 3.尊重と共生の社会の確立
就業環境の確保 ○地域や企業ニーズに合った人材が育成され、質の高い労働市場が確保されたまち。	1.人材の育成 2.雇用の場の創出
魅力ある価値の創出 ○豊富な観光資源や農産物を生かし、稼ぐ地域産業が育まれているまち。	1.ブランド力の向上
社会基盤の確保 ○コンパクトで交通ネットワークの充実した高次都市機能が維持されたまち。	1.都市機能の充実

※
支
え
る

●宮崎市緑の基本計画

[目標年度：2027年度]

緑の将来像	太陽と緑と大地のガーデンシティ みやざき
理念	宮崎の恵まれた自然環境を生かして、みんなで創る、緑豊かな都市づくり
基本方針	1.良好な都市環境、2.生きものとふれあえる都市、3.ニーズにあったレクリエーションの場、4.防災・減災、5.美しい景観、6.市民との共創

6つの緑の機能	施策の概要
①都市環境の改善・維持 ②生物多様性の確保 ③レクリエーション ④防災・減災 ⑤景観形成	※「6つの緑の機能」毎に保全・創出・共創施策を定める。 ●保全：4種23施策 ●創出：6種20施策 ●共創：1種 5施策 計48施策 (概要) ①森林等の保全、公園維持管理、道路等の緑化。 ②樹林地や農地の保全、水辺空間の保全、開発抑制。 ③都市公園維持、オープンスペースや花に親しむ場づくり。 ④森林等の保全、道路・公園等の維持・確保と緑化。 ⑤花と緑による地域性の演出、空港・港湾の緑地整備。 ⑥担い手育成、市民参加促進、市民活動への支援。
③レクリエーション	
⑥地域活性化	
⑥地域活性化	
①都市環境の改善・維持 ②生物多様性の確保 ③レクリエーション ⑤景観形成 ⑥地域活性化	
①都市環境の改善・維持 ③レクリエーション ④防災・減災 ⑤景観形成	

花とみどりのプロジェクト

●花とみどりのプロジェクト（各施策の促進と地方創生への貢献度を高めるため分野横断的に定める。）

緑の基本計画の概要

【緑を取りまく状況】

人口減少社会	少子高齢社会	公共投資余力の減少	地方創生	安全・安心	地球環境問題	生物多様性
社会保障はもとより、様々な分野の社会システムの維持に支障が生じる可能性がある。施策の持続可能性への考慮が求められている。	未来を担う子どもたちの健やかな成長や高齢者の健康・生きがいづくりなど、誰もが豊かで住みよい環境づくりが求められている。	緑の質を高めつつ既存ストックの維持管理との調和を図ることが必要。また、今後コンパクトシティ化に適切に対応していくことが求められている。	良好な緑を生かした特徴ある都市づくりにより、誇りあるコミュニティの形成や地域経済活性化への貢献が求められている。	大規模災害が多発しており、緑が有する保水機能や災害時の避難地・延焼防止機能等、防災・減災機能の維持強化が求められている。	低炭素・循環型社会の実現に向けた取組を加速させるとともに、緑が有する熱環境緩和機能やCO2吸収機能などを生かした都市づくりが求められている。	地域の生態系を維持する生息・生育地の保全とネットワーク形成など、生物多様性を確保していくことが求められている。

【緑の基本計画】

緑の機能	緑の分析・評価・課題	基本方針	課題を解決するための施策		
			保全	創出	共創
都市環境の改善・維持	<ul style="list-style-type: none"> 郊外の耕作放棄地や放置林の増加による緑の減少。 市街地や郊外では自然や歴史的風土を感じられる天然記念物等が保全されている一方、郷土の名木は減少。 市街地の緑の不足はヒートアイランド現象の要因となる等快適に生活できる都市環境を損なっている。 	良好な都市環境形成	(樹林地の保全) ●森林等の保全 1-(1) ●優れた樹林地の保全 1-(2) ●名木等の保全 1-(3) (農地の保全) ●農地の保全 2-(1) (水辺の保全) ●水辺空間の保全 3-(1) (開発行為における緑の保全) ●開発行為における緑の保全 4-(1) ●法令の適切な運用 4-(2)	(都市公園の整備・維持管理) ●身近な公園の整備・維持管理 1-(1) ●拠点となる公園の整備・維持管理 1-(2) ●既存公園のリニューアル 1-(3) ●公園管理体制の充実 1-(4) (都市公園以外の施設の緑化) ●駅・空港・港湾への緑地整備 2-(1) ●公共・民有地の公園的活用 2-(2) (水と緑の空間の形成) ●水辺の整備 3-(1) (花と緑を生かした空間形成) ●花と緑による地域性の演出 4-(1) ●花と緑に親しむ拠点づくり 4-(2) (公共施設の緑化) ●道路の緑化 5-(1) ●公共施設の緑化 5-(2) (民有地の緑化) ●民有地の緑化 6-(1) ●各種法制度を活用した緑化の推進 6-(2)	(市民緑化活動の促進・支援) ●担い手の育成 1-(1) ●緑の市民活動の充実 1-(2)
生物多様性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 郊外の里地里山、農地等に生きものが生息できる環境が形成されている。 市街地は生きものが生息できる緑が不足している。 	多様な生きものとふれあえる都市の形成			
レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> 身近なレクリエーションの場となる公園等が不足している。 	ニーズに対応したレクリエーションの場の形成			
防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> 郊外の山林や農地等は土砂災害の未然防止に寄与している。 市街地のオープンスペースや火災時の延焼防止効果が高い緑が不足。 	防災・減災に役立つ緑の形成			
景観形成	<ul style="list-style-type: none"> 山地では太陽光発電施設の建設等に伴い森林等の緑が失われており、海岸では砂浜が侵食される等、美しい自然景観が失われつつある。 	美しい景観形成			
地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢社会の進行により、市民緑化活動の担い手が減少している。 	市民との共創による緑化活動推進			
花とみどりのプロジェクト			緑の目標量 [市街化区域：728ha (11.2%)] [都市公園：939ha (23.54㎡/人)] ※現状維持		

①日南海岸 ②ワシントンアバームの並木 ③一ツ葉海岸の松林 ④宮崎神宮の森	①子供が遊べる楽しく安全な公園 ②散歩やジョギングができる緑道・遊歩道 ③災害時の避難地や防災拠点となる公園	①自宅を花や鉢植えで飾る ②庭で家庭菜園をする	①森林、樹林地、河川などの保全・緑化 ②緑化意識や環境意識を高める普及啓発活動 ③道路や学校など公共空間や民有地の緑化
「宮崎を代表する緑」	「身近な公園・緑地に必要なもの」	「実践したい緑化活動」	「重点的に取り組むべき施策」

【市民意識調査】

花とみどりのプロジェクト「重点施策」の概要

1. オータムフラワーフェス開催事業

- プロジェクト名 太陽のプロジェクト
- 目的 人を育てる。
- ターゲット 意識啓発 - フェス

緑化重点地区である一ツ葉地区、青島地区、中心市街地地区において、それぞれの花の拠点であるフローランテ宮崎、英国式庭園、宮交ボタニックガーデン青島、こどものくに、及び、橘通り等を中心に、連携して個性ある花のイベント等を開催することで、1年中花のある宮崎の魅力を市内外にアピールし、市民意識の向上と宮崎市のブランド力の向上を図る。

2. 花のまちみやざきインキュベート事業

- プロジェクト名 ガーデンシティプロジェクト
- 目的 まち育てる。
- ターゲット 活性化 - スタートアップ支援

企業や市民団体等（県の「美しい宮崎づくり活動団体」に登録し市が認めた団体。）が、自主的に行なう景観形成事業に対し、宮崎県と協調しそのスタートアップに必要な経費の一部を助成することで、官民連携による美しい宮崎づくりを推進する。

活動団体の全体経費			補助対象外
補助対象経費（上限 100 万円、下限 20 万円）			
宮崎県（1/2）	市町村（1/4）	活動団体（1/4）	活動団体

①景観の保全・創出、②景観を活用した活動、③普及啓発・人材育成、に係る経費

3. 花と緑の都市デザイン検討

- プロジェクト名 ガーデンシティプロジェクト
- 目的 まちを育てる。
- ターゲット 活性化 - 調査・検討

持続可能で効率的・効果的な花と緑の都市づくりを推進するため、多様な宮崎の緑の資源を点検評価するとともにその魅力を再構成し、緑化重点地区や拠点施設のあり方、及び、地域特性に応じた公共空間の緑化方策やカラーコーディネート等について検討を行う。

4. フローランテ宮崎の魅力アップ検討

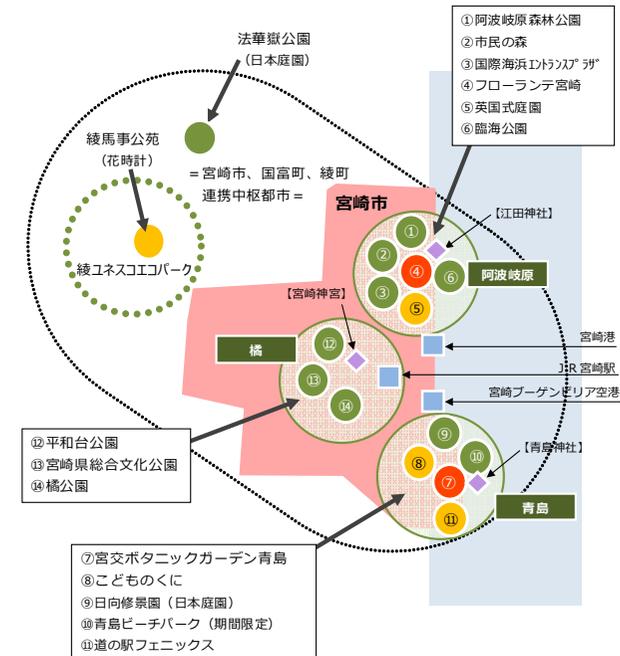
- プロジェクト名 ガーデンシティプロジェクト
- 目的 まちを育てる。
- ターゲット 活性化 - 拠点のリニューアル

世界に誇れる花のまちづくりの拠点施設として位置づけられ、平成 12 年に開園したフローランテ宮崎について、その後の社会経済情勢の変化や花のニーズの変化に適切に対応し、拠点施設としての魅力向上を図るため、その機能や役割・運営方法等について関係課と連携し検討を行う。

5. ガーデンツーリズムの検討

- プロジェクト名 ガーデンシティプロジェクト
- 目的 まちを育てる。
- ターゲット 活性化 - 連携・融合

地域の庭園（ガーデン）等を広域的にネットワーク化し、相互連携した取組を推進するとともに、観光産業など多様な産業と連携することで、新たな魅力を創出し地域経済の活性化を図る。



（イメージ）

花とみどりのプロジェクトH31年度事業費

プロジェクト名	ターゲット		施策名	H31年度事業費(千円)	施策内容
「太陽」のプロジェクト 人を育てる。	人材育成	市民・団体	・花いっぱい推進事業	36,000	・民間ボランティア団体等に対する花苗配布。
		推進員	・花のまちづくり推進協議会等事業	1,269	・花のまちづくり推進員・協議会の活動支援。
		講座	・ガーデナー養成等講座事業	206	・花に親しむ人を増やし、また、そのレベルアップを図る講座。
	意識啓発	P R	・誕生花カレンダー・花回遊マップ事業	910	・啓発資材としてのカレンダー等の作成。
		コンクール	・花のまちづくりコンクール事業	468	・個人や企業等の庭や緑地づくりのコンクール。
		シンポジウム	・花と緑のシンポジウム事業	1,811	・市民や関係者に対する啓発セミナーやシンポジウム開催。
		フェス	◆オータムフラワーフェス開催事業	2,343	・関係者・団体・施設が連携して機運を高めるフェス。
計			43,007		
「ガーデンシティ」プロジェクト まちを育てる。	活性化	スタートアップ支援	◆花のまちみやぎインキュベート事業	3,000	・民間の自主的な美しいまちづくりのスタートを支援する。
		調査・検討	◆花と緑の都市づくりデザイン検討	-	・効率的で効果的な緑の都市づくりのための各種検討。
		拠点のリニューアル	◆フローランテ宮崎の魅力アップ検討	-	・フローランテ宮崎の魅力向上に向けた検討。
		連携・融合	◆ガーデンツーリズムの検討	-	・地域資源を連携させ新たな効果を創出する事業の検討。
計			3,000		
「大地」のプロジェクト 緑を育てる。	公共空間	点	・景観拠点づくり事業	36,940	・拠点となる花壇や道路などをスポット的に植栽。
		線	・草花植栽管理事業	15,000	・重要路線となる市道の植栽樹などに植栽。
			・花空間拡充事業	5,000	・橋通りを中心とする中心市街地の花壇等に植栽。
	民地空間	保全	・郷土の名木保全事業	2,543	・郷土の名木維持に係る助成及びそのあり方検討。
		助成	・民間緑化支援事業	1,100	・民間施設の緑化促進に係る助成。
計			60,583		
合計				106,590	
その他消耗品費等				2,363	
総合計				108,953	

◆：重点施策